

主要IT企業GAFA4社、全てCO₂削減へ向かう

◆アマゾン、2030年までに商品配送の半分でCO₂排出量をネットゼロに

アマゾンは2019年2月、30年までに配送の50%をCO₂排出量ゼロにするビジョン「Shipment Zero」を発表した。このビジョンには配送に電気自動車利用、バイオジェット航空輸送、再利用できる梱包などが含まれている。アマゾンは、すでに配送センターの電力を100%再生可能エネルギーにする活動を進めてきたが、配送でのCO₂排出量も削減する計画を明確に示した。

アマゾンは、社内に環境サステナビリティを高める手法を開発する専任科学者、エンジニア、商品設計者を200人以上かかえており、これまで、開封しやすい段ボールの開発、米国のサーキュラー・エコノミー推進ファンド「Closed Loop Fund」への出資などを実施し、環境に優れた配送方法も開発中とみられる。

◆すでにアップル、グーグルは再エネによって全事業を行う

他方、アップルは世界で風力や太陽光の発電所を買収し、計画中のものを含めると1.4GWの再エネ発電量を持つようになる。これはロサンゼルス市130万世帯の家庭用電力量に匹敵する。アップルは自社のサプライヤーに再エネ転換を求め、世界23社のサプライヤーが製品製造に必要な電力を100%再エネにしている。

| 米時価総額順 (2018.9) | 企業名 | RE100参加有無(○×)、温暖化対策の達成状況 |
|--------------------|----------------|--|
| 1 | アップル | ○ 16.9参加、18.4達成済(サプライヤーへの展開中) |
| 2 | アマゾン | × 30年までに配送の50%のCO ₂ 排出量をゼロに |
| 3 | マイクロソフト | ○ 14年に達成済 |
| 4 | グーグル(Alphabet) | ○ 17年12月達成済 |
| 5 | バークシャー・ハサウェイ | × [W・バフェット氏率いる投資会社] |
| 6 | フェイスブック | ○ 17年末再エネ運用率50%、20年に再エネ100%目標 |
| 7 | JPモルガン・チェース | ○ 20年に100%再エネで賄う目標 |
| 8 | ジョンソン&ジョンソン | ○ 20年までに35%を再エネで賄う目標 |
| 9 | エクソン・モービル | × [石油大手, 排出量世界上位] CCUS, メタンガス削減を開発中 |
| 10 | ビザ | ○ 19年末に100%再エネで賄う目標 |

注：RE100は英NGO The Climate Group(TCG)が14年創設、19年2月現在、世界164社が加盟。

これまで主要IT企業GAFA(グーグル、アマゾン、フェイスブック、アップル)のうち3社は使用電力を全て再エネにすると宣言する企業連合「RE100」に加盟している。アマゾンだけ非加盟であるが、このアマゾンの動きはグローバル企業の多くを再エネ使用に向かわせるきっかけになるかもしれない。 【新井喜博】